Roland

MIXING STEREO AMPLIFIER

SRA-5050

取扱説明書

このたびは、ミキシング・ステレオ・アンプリファイアー SRA-5050 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」（P.2）と「使用上のご注意」（P.4）をよくお読みください。また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

主な特長

- ハーフ・ラック・サイズで 50W × 2 の高出力を実現しています（ステレオ 4Ω 負荷時）。
- デジタル・アンプの採用により、消費電力は従来方式の約 40% を実現しました。低発熱により自然空冷方式で優れた耐久性、静粛性も実現しています。また、別売のラック・マウント・アダプター（RAD-100A）をお使いいただくことで、ラック・マウントも可能です。
- 電源に大型トロイダル・トランスを採用。音質を追求した設計です。
- 入力端子はリア・パネルの標準タイプと RCA ピン・タイプに加えて、フロント・パネルに XLR-3-31 タイプ／ TRS 標準タイプのマイク入力端子を装備しています。
- 3 系統のミキシングが可能です。
- 各入力チャンネルには、ピーク／シグナルのインジケーターを装備しました。
- ミキシング量のモニターなどに便利なヘッドホン端子も装備しています。

安全上のご注意

マークについて

この機器に表示されているマークには、次のような意味があります。

注意：感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。
この機器の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。
修理は、お買い上げ店または保証書封筒裏面に記載のサービスステーションに依頼してください。

このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。

このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表わしています。

火災・感電・傷害を防止するには

⚠警告と⚠注意の意味について

⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表わしています。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表わしています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表わしています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表わしています。 具体的な注意内容は、△の中に描かれています。 左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表わしています。
	⃠は、禁止（してはいけないこと）を表わしています。 具体的な禁止内容は、⃠の中に描かれています。 左図の場合は、「分解禁止」を表わしています。
	●は、強制（必ずすること）を表わしています。 具体的な強制内容は、●の中に描かれています。 左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表わしています。

以下の指示を必ず守ってください

⚠警告

- この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。

- この機器を分解したり、改造したりしないでください。

- 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店または保証書封筒裏面に記載のサービスステーションに相談してください。

- 次のような場所での使用や保存はしないでください。
  - ○ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
  - ○ 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
  - ○ 雨に濡れる場所
  - ○ ホコリの多い場所
  - ○ 振動の多い場所

⚠警告

- この機器の設置には、ローランドが推奨するラック（SYR-4200/600）とラック・マウント・アダプター（RAD-100A）を使用してください。

- この機器の設置にラック（SYR-4200/600）を使用する場合、ぐらつくような所や傾いた所にラックを設置しないでください。安定した水平な所に設置してください。機器を単独で設置する場合も、同様に安定した水平な所に設置してください。

- 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。

- 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がつき、ショートや断線の結果、火災や感電の恐れがあります。

⚠ 警告

● この機器を単独で、あるいはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

● この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。

● 次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから外し、お買い上げ店または保証書封筒裏面に記載のサービスステーションに修理を依頼してください。

○ 電源コードやプラグが破損したとき
○ 煙が出たり、異臭がしたとき
○ 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
○ 機器が（雨などで）濡れたとき
○ 機器に異常や故障が生じたとき

● お子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。

● この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。

● 電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット／アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。

● 外国で使用する場合は、お買い上げ店または保証書封筒裏面に記載のサービスステーションに相談してください。

● 本機の上に水の入った容器（花びんなど）、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、すみやかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

⚠ 注意

● この機器は、風通しのよい、正常な通気が保たれている場所に設置して、使用してください。

● 電源コードを機器本体やコンセントに抜き差しするときは、必ずプラグを持ってください。

● 定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを拭き取ってください。また、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、絶縁不良を起こして火災の原因になります。

● 接続したコードやケーブル類は、繁雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。

● この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。

● 濡れた手で電源コードのプラグを持って、機器本体やコンセントに抜き差ししないでください。

● この機器を移動するときは、電源プラグをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。

● お手入れをするときには、電源を切って電源プラグをコンセントから外してください。

● 落雷の恐れがあるときは、早めに電源プラグをコンセントから外してください。

● 取り外した接地端子のネジや付属のゴム足は、小さなお子様が誤って飲み込んだりすることのないようお子様の手の届かないところへ保管してください。

● 本体ケースは高温になりますので、やけどしないよう注意してください。

使用上のご注意

2 ページに記載されている「安全上のご注意」以外に、次のことに注意してください。

電源について

- 本機を冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなどのインバーター制御の製品やモーターを使った電気製品が接続されているコンセントと同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズにより本機が誤動作したり、雑音が発生する恐れがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。
- 接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってください。
- 電源スイッチを切った後、本機上の LED は消えますが、これは主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に電源を切る必要があるときは、この機器の電源スイッチを切った後、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、この機器にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。

設置について

- この機器の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴がつく（結露）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になりますので、数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。
- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては本機のゴム足が、設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。
  ゴム足の下にフェルトなどの布を敷くと、安心してお使いいただけます。この場合、本機が滑って動いたりしないことを確認してからお使いください。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

修理について

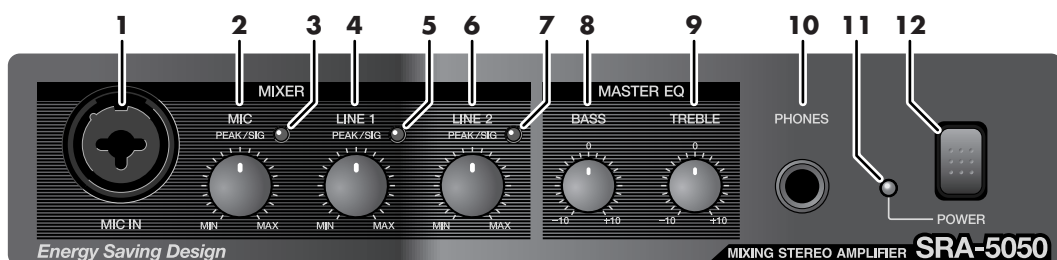
- お客様がこの機器を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、または保証書封筒裏面に記載のサービスステーションにご相談ください。

その他の注意について

- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐため、プラグを持ってください。
- この機器は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は、音量に十分注意してください。ヘッドホンを使用すれば、気がねなくお楽しみいただけます。
- 輸送や引っ越しをするときは、この機器が入っていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。
- この機器が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄する場合、各市町村のゴミの分別基準に従って行ってください。

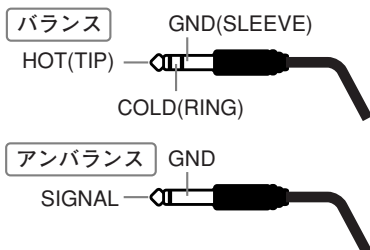
目次

各部の名称と働き

フロント・パネル

1. **マイク入力端子（XLR-3-31 タイプ／ TRS 標準タイプ、バランス入力、アン・バランス入力対応可）**
マイク（別売：DR-30 など）を接続する端子です。

マイク入力端子はバランス（XLR/TRS）タイプの端子になっていて、次のように配線されています。接続する機器の配線をご確認のうえ、接続してください。

XLR-3-31タイプ　TRS標準タイプ

1: GND
2: HOT
3: COLD

2. **マイク音量つまみ**
マイク入力端子に接続したマイクの音量を調節します。

3. **ピーク／シグナル・インジケーター**
マイク入力端子に信号が入力されると、緑（SIG）が点灯します。信号レベルが大きすぎるときは赤（PEAK）が点灯します。

4. **ライン 1 音量つまみ**
ライン・イン 1 入力端子に接続した機器の音量を調節します。L/R 同時に調節されます。

5. **ピーク／シグナル・インジケーター**
ライン・イン 1 入力端子に信号が入力されると、緑（SIG）が点灯します。信号レベルが大きすぎるときは赤（PEAK）が点灯します。

6. **ライン・イン 2 音量つまみ**
ライン・イン 2 入力端子に接続した機器の音量を調節します。L/R 同時に調節されます。

7. **ピーク／シグナル・インジケーター**
ライン・イン 2 入力端子に信号が入力されると、緑（SIG）が点灯します。信号レベルが大きすぎるときは赤（PEAK）が点灯します。

8. **ベースつまみ**
低域の音質を調節します。中央がフラットな特性です。中央より右に回すと低音が強調され、左に回すと減衰されます。

9. **トレブルつまみ**
高域の音質を調節します。中央がフラットな特性です。中央より右に回すと高音が強調され、左に回すと減衰されます。

10. **ヘッドホン端子（ステレオ標準タイプ）**
ヘッドホン（別売：RH-300 など）を接続する端子です。ミキシング量などをモニターすることができます。

※ ヘッドホンを接続すると、スピーカー端子から音は出ません。

※ ヘッドホンを抜いてからしばらくは、スピーカー端子から音は出ません。

11. **パワー・インジケーター**
電源スイッチをオンにすると点灯します。

12. **電源スイッチ**
電源のオン／オフをします。電源スイッチを押し込むと電源がオンになり、パワー・インジケーターが点灯します。

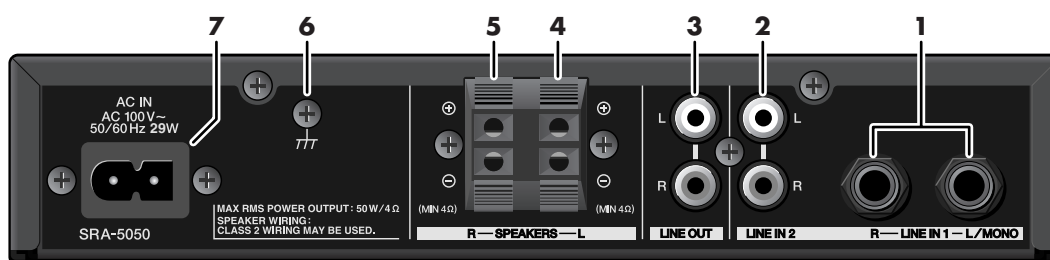
ご注意!
電源をオン／オフするときは、音量つまみを左に回しきった状態（MIN）で行ってください。

ご注意!
この機器は回路保護のため、電源をオンしてからしばらくは動作しません。

ピーク／シグナル・インジケーター点灯レベルの目安（各音量つまみ最大の場合）

- **緑（SIG）：** 規定入力レベルより約 30dB 小さい信号が入力されると点灯
- **赤（PEAK）：** 規定入力レベル以上の信号が入力されると点灯

ご注意!
赤（PEAK）が点灯するときは入力信号レベルが大きすぎますので、各音量つまみ（マイク／ライン 1 ／ライン 2）で音量を下げてください。
赤（PEAK）が点灯していなくても、他のチャンネルに信号が入力されたり、ベース／トレブルつまみを上げると出力が歪むことがあります。

リア・パネル

1. ライン・イン 1 端子 L/MONO/R（標準タイプ／アン・バランス）

ローランドの AR シリーズや電子楽器、CD プレーヤー、MD プレーヤー、カセット・デッキなどのオーディオ機器を接続できます。

※ モノ入力の場合は、L/MONO に接続してください。同じ信号がスピーカー端子の L/R 両方のチャンネルからも出力されます。

ご注意!

入力感度が高いため（-16dBu）、ライン 1 音量つまみをしぼりきっても音が漏れる場合があります。その場合は、接続した機器の出力レベルを下げてください。

2. ライン・イン 2 端子 L/R（RCA ピン・タイプ／アン・バランス）

CD プレーヤー、MD プレーヤー、カセット・デッキなどのオーディオ機器を接続できます。

ご注意!

入力感度が高いため（-16dBV）、ライン 2 音量つまみをしぼりきっても音が漏れる場合があります。その場合は、接続した機器の出力レベルを下げてください。

3. ライン・アウト端子 L/R（RCA ピン・タイプ／アン・バランス）

他のパワーアンプや録音機器、放送設備などへ信号を送ることができます。ミキシング後の信号を出力します。ベース／トレブルの調節は無効となります。

4. スピーカー端子 L
5. スピーカー端子 R

スピーカー・システムを接続する端子です。

ご注意!

- 合成インピーダンスが 4Ω 以上のスピーカー・システムを使用してください。
- プラス（+）とマイナス（-）がショートしないようにしてください。
- L と R が接触しないようにしてください。
- プラス（+）とマイナス（-）の極性を間違えないようにしてください。

6. 接地端子

本機は、設置条件によってパネル面（本体）や接続されたマイクなどの金属部がざらつくような感じになるときがあります。これは人体に全く害のない極微量の帯電によるものですが、気になる方は、必要に応じ、接地端子を使って外部のアースか大地に接地してご使用ください。接地した場合、設置条件によってはわずかにハム（うなり）が混じる場合があります。なお接続方法がわからないときは保証封筒裏面に記載のサービスステーションにご相談ください。

接続してはいけないところ

- 水道管（感電の原因になります）
- ガス管（爆発や引火の原因になります）
- 電話線のアースや避雷針（落雷のとき危険です）

7. AC インレット

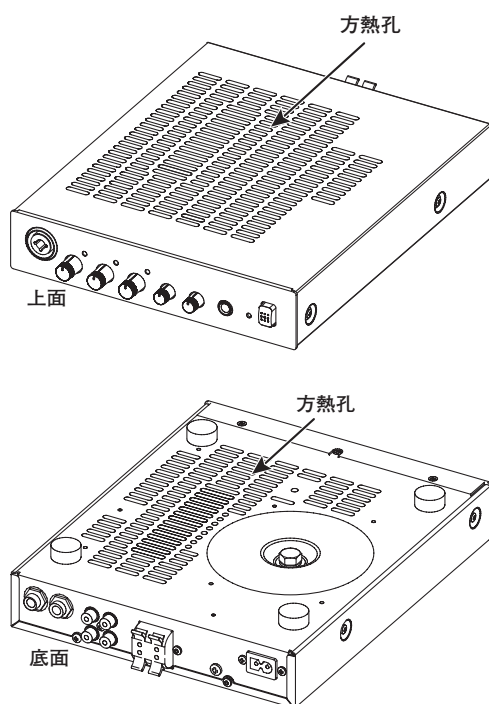
付属の電源コードを接続するコネクターです。

※ 電源の消費電力の仕様については、P.14 を参照してください。電源プラグは、必ず銘板に記載の仕様を満たしている電源コンセントに差し込んでください。銘板は、製品本体の側面にあります。設置の状態により銘板が確認しづらい場合には、P.14 を参照してください。

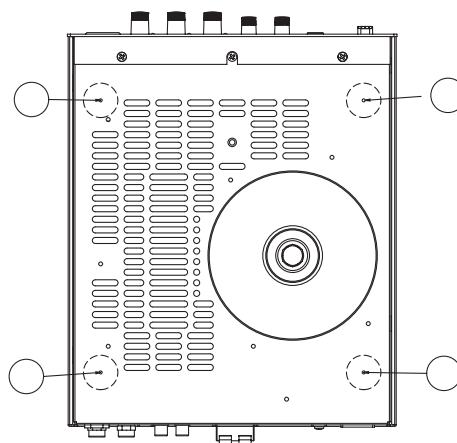
設置について（放熱に対するご注意）

本機は動作時に発熱しますので、放熱のために以下の設置方法を必ずお守りください。

放熱孔の掃除

本機の上面および底面には放熱のための孔があります。長期間使用するとゴミやほこりにより孔がふさがれることがあります。定期的に放熱孔を掃除機などで掃除してください。

本機を机や棚などに据え置きする場合

本機を机や棚などに据え置きして使用するときは、放熱のため必ずゴム足（付属品）を取り付け、通気性の良い場所に設置してください。

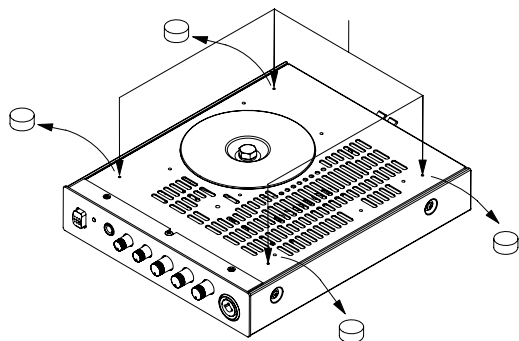
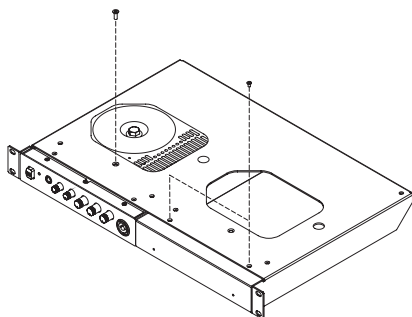
ゴム足の両面テープをはがし、下記の図の位置に貼り付けます。

※ 本体を裏返すときは、ボタン、つまみなどを破損しないように、新聞や雑誌などを重ねて本体の四隅や両端に敷いてください。また、その際、ボタン、つまみなどが破損しないような位置に配置してください。

※ 本体を裏返すときは、落下や転倒を引き起こさないよう取扱いにご注意ください。

本機の上部には、放熱のため 4cm 以上の空間を空けてください。

ラックへ設置する場合

本機にラックマウント・アダプター（RAD-100A：別売）を取り付けることで、EIA ラックに設置できます。1 つの RAD-100A で本機を 2 台まで設置できます。

1. ゴム足を 4 箇所はずします。

2. RAD-100A 付属のネジで本機を RAD-100A に固定します。

※ 通気性の良い場所に設置してください。

※ 前面に扉のあるラックは使用しないでください。本機が冷たい外気を吸入できなくなります。

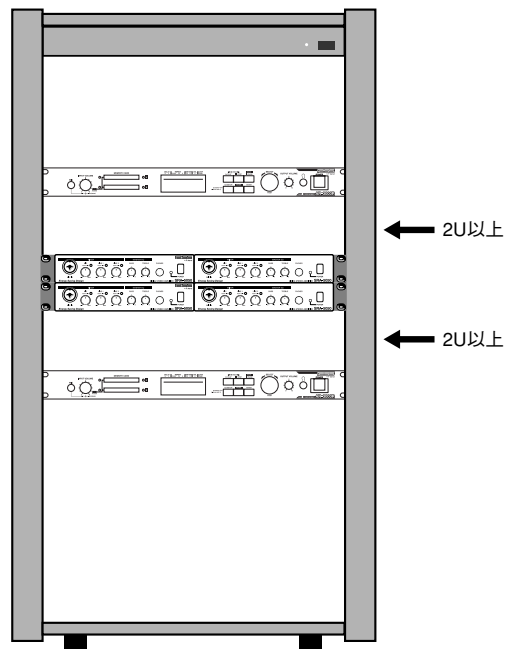
※ ラック後面が解放されたラックを使用してください。

※ ラック後面と壁との間は、10cm 以上空けてください。

ご注意!

本機は旧製品の RAD-100 やその他のラックマウント・アダプターを使って取り付けることはできません。取り付けた場合、本機の放熱ができなくなり、故障の原因となります。

※ 本機をラックにマウントするときは、下図のように設置してください。

- 段積みは 2 段までとし、2 段ごとに 2U 以上のスペースを空ける。

※ ラックにセットするときは、指などをはさまないように注意して行ってください。

※ 設置については、使用上のご注意の「設置について」(P.4) もあわせてお読みください。

ご注意!

ラックに取り付けた状態で、ラックを運搬しないでください。振動の衝撃によりラックマウント・アダプターが変形するおそれがあります。

機器を接続する

接続時、および電源投入時のご注意

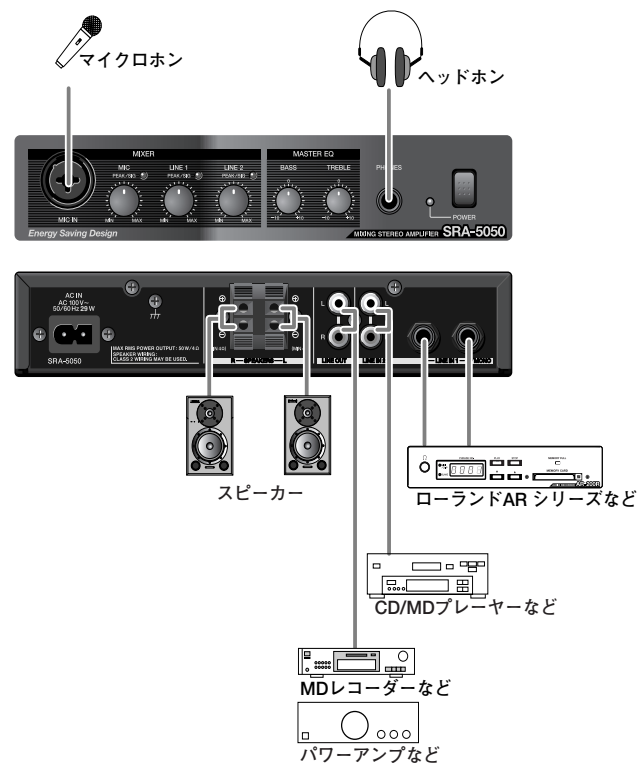
- 他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。
- スピーカー端子には、スピーカー以外は接続しないでください。
- 保護回路が働くため本機が壊れることはありませんが、スピーカー・ケーブルをショートさせないよう、ご注意ください。
保護回路ついて →P.11
- スピーカー・システムは、各チャンネルに合成インピーダンスが 4Ω 以上のインピーダンスのものを接続してください。
- 本機は BTL 接続はできません。ステレオ接続でお使いください。

- 正しく接続したら、必ず次の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損したりする恐れがあります。（電源をオフにするときは、逆の手順で行います。）

接続されている機器 ⟶ 本機

- 本機は回路保護のため、電源をオンしてからしばらくは動作しません。
- 感電する恐れがありますので、動作中は端子に触れないようにしてください。

- 抵抗入りの接続ケーブルを使用すると、入力端子（マイク入力端子、ライン・イン 1 入力端子、ライン・イン 2 入力端子）に接続した機器の音量が小さくなることがあります。このときは、抵抗の入っていない接続ケーブル（ローランド：PCS シリーズなど）をご使用ください。

接続例

※ ライン・イン、ライン・アウト、スピーカー端子ともステレオですので、L と R を間違えないように接続してください。

※ マイクロホンとスピーカーの位置によっては、ハウリング音（キーンという音）が出ることがあります。その場合は、以下のように対処してください。

1. マイクロホンの向きを変える
2. マイクロホンをスピーカーから遠ざける
3. 音量を下げる

保護回路について

本機には、接続しているスピーカーや本機を守るための保護回路が装備されています。

保護回路	保護対象	動作	表示	お客様の対策
ミューティング	電源オンオフ時のショック・ノイズからスピーカーを保護します。	電源をオンにしてから、数秒間出力をカットします。 電源オフ時に直ちに出力をカットします。	ありません。	必要ありません。
DC 検出保護	スピーカーを保護します。	出力に± 4V 以上の DC が発生すると出力をカットします。 DC がなくなると自動復帰します。	ありません。	復帰しない場合は、お買い上げ店または保証書封筒裏面に記載のサービスステーションにご相談ください。
温度保護	本機が異常に発熱した場合に、アンプ部または電源トランスを保護します。	アンプ部： 出力をカットします。 電源トランス： 温度ヒューズを遮断します。	アンプ部： ありません。 電源トランス： 本機の電源が切れ、電源インジケーターが消灯します。	アンプ部： 本機の周りの通風状態を確認してください。 過大な信号を入力していないか確認してください。 4Ω 以上のスピーカーを接続してください。 確認後、本機が十分に冷えてから電源を入れ直してください。 電源トランス： お買い上げ店または保証書封筒裏面に記載のサービスステーションにご相談ください。
電流制限	本機のアンプ部を保護します。	出力ショートや 4Ω 未満のスピーカーが接続された状態で入力信号が入ったときに作動します。過大入力時にも作動します。	ありません。	スピーカー・ケーブルのショートをなくしてください。 4Ω 以上のスピーカーを接続してください。 過大な信号を入力していないか確認してください。 確認後、電源を入れ直してください。

※ 保護回路が作動すると音が出なくなります。

※ 復帰するためには電源をいったんオフにしてください。再度電源を入れ直すと正常に復帰します（アンプ部の温度保護回路および電流保護回路が作動の場合）。

※ 復帰しない場合は、接続状況や設置状況をもう一度確認してください。

※ 接続状況や設置状況に問題がないにもかかわらず復帰しない場合は、お買い上げ店または保証書封筒裏面に記載のサービスステーションにご相談ください。

故障かな？と思ったら

音が出なくなったり、動作がおかしいと思ったら、まず次の点をチェックしてください。確認後、問題が解決しない場合は、お買い上げ店または保証書封筒裏面に記載のサービスステーションにご相談ください。

音が出ない

- 電源コードの接続状況を確認してください。
- 接続ケーブルが断線や接触不良になっていないか確認してください。
- 音量つまみが左に回しすぎた状態になっていないか、確認してください。
- 接続した機器の設定を確認してください。
- 保護回路が作動していないか確認してください。

  保護回路ついて → P.11

入力端子に接続した機器の音量が小さい

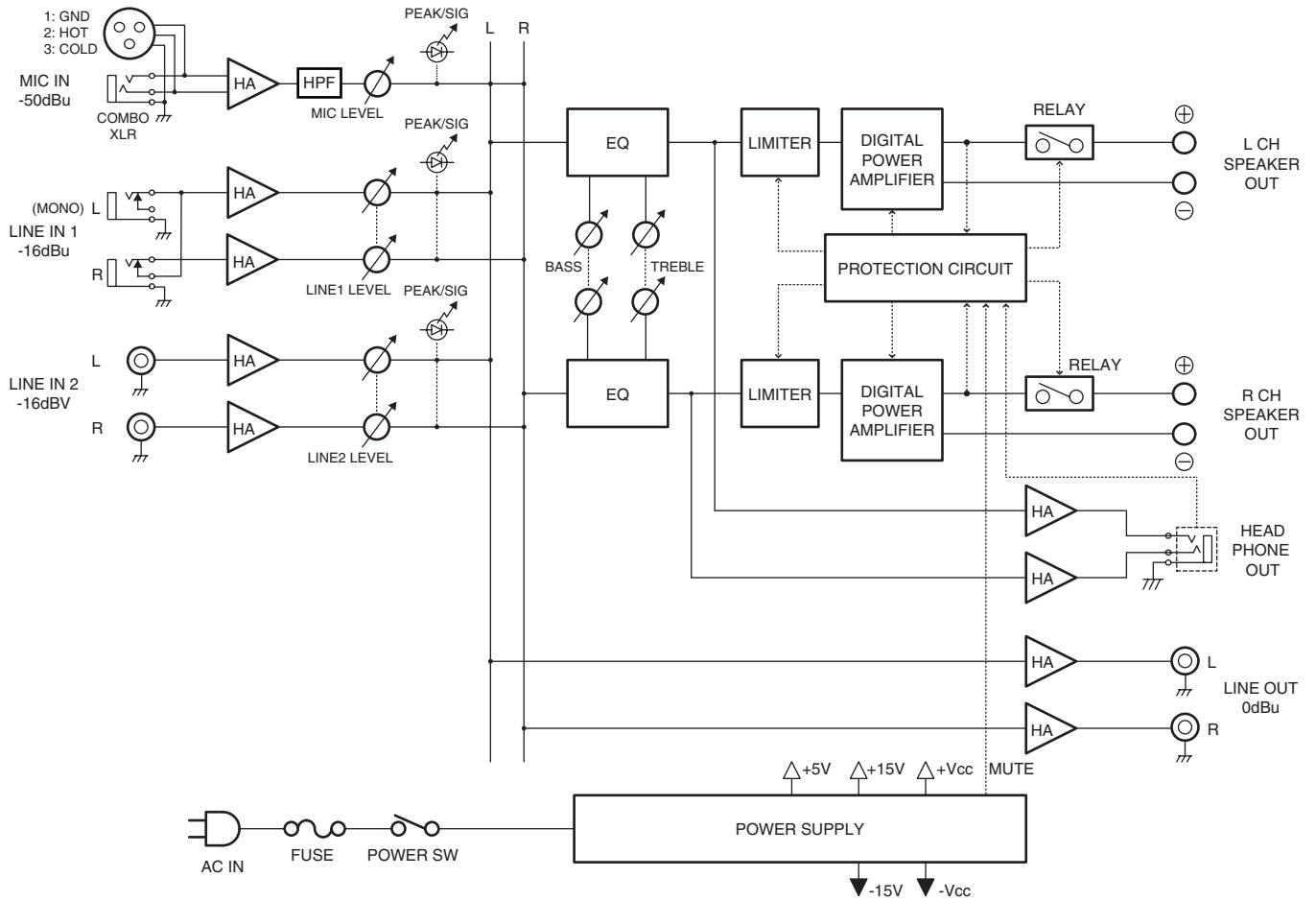
- 抵抗入りの接続ケーブルを使用していませんか？

  抵抗の入っていない接続ケーブル（ローランド：PCS シリーズなど）をご使用ください。

音の定位がおかしい（低音が極端に小さい、左右に極端に広がって聴こえる）

- スピーカー・ケーブルの極性が逆になっていないか、確認してください。

資料

ブロック・ダイアグラム

主な仕様

SRA-5050：ミキシング・ステレオ・アンプリファイアー

●定格出力
35W × 2（8Ω 負荷、1kHz）
50W × 2（4Ω 負荷、1kHz）

●周波数特性
10Hz 〜 30kHz（+1/-1dB、1W/8Ω）

●入力インピーダンス
マイク：1.9kΩ（アンバランス時）、1.1kΩ（バランス時）
ライン・イン 1：8.5kΩ（ステレオ時）、4.5kΩ（L/MONO 時）
ライン・イン 2：9kΩ

●入力感度
マイク：-50dBu
ライン・イン 1：-16dBu
ライン・イン 2：-16dBV

●最大許容入力
マイク：-4dBu
ライン・イン 1：+11dBu
ライン・イン 2：+11dBV

●推奨負荷インピーダンス
4Ω 以上

●全高調波歪率
0.08%（ステレオ 8Ω 負荷、1kHz、17.5W、typ.）

● S/N 比
90dB 以上（入力 150Ω ターミネート、IHF-A）

●チャンネル・セパレーション
70dB（8Ω 負荷、1kHz、25W、DIN audio、typ.）

●コントロール
マイク音量つまみ
ライン 1 音量つまみ
ライン 2 音量つまみ
トレブルつまみ
ベースつまみ
電源スイッチ

●インジケーター
パワー・インジケーター
ピーク／シグナル・インジケーター× 3
（マイク、ライン 1、ライン 2）

●接続端子
フロント：マイク入力端子（XLR-3-31 タイプ／ TRS 標準タイプ、バランス／アンバランス対応可）
ヘッドホン端子（ステレオ標準タイプ）
リア　：ライン・イン 1 端子（L/MONO、R）（標準タイプ）
ライン・イン 2 端子（L、R）（RCA ピン・タイプ）
ライン・アウト端子（L、R）（RCA ピン・タイプ）
スピーカー端子（L、R）

●電源
AC100V（50/60Hz）

●消費電力
29W

●外形寸法
218（幅）× 288（奥行）× 52（高さ）mm（ゴム足含む）

●質量
3.5kg（電源コード含む）

●付属品
取扱説明書
保証書
ローランド ユーザー登録カード
電源コード
ゴム足× 4

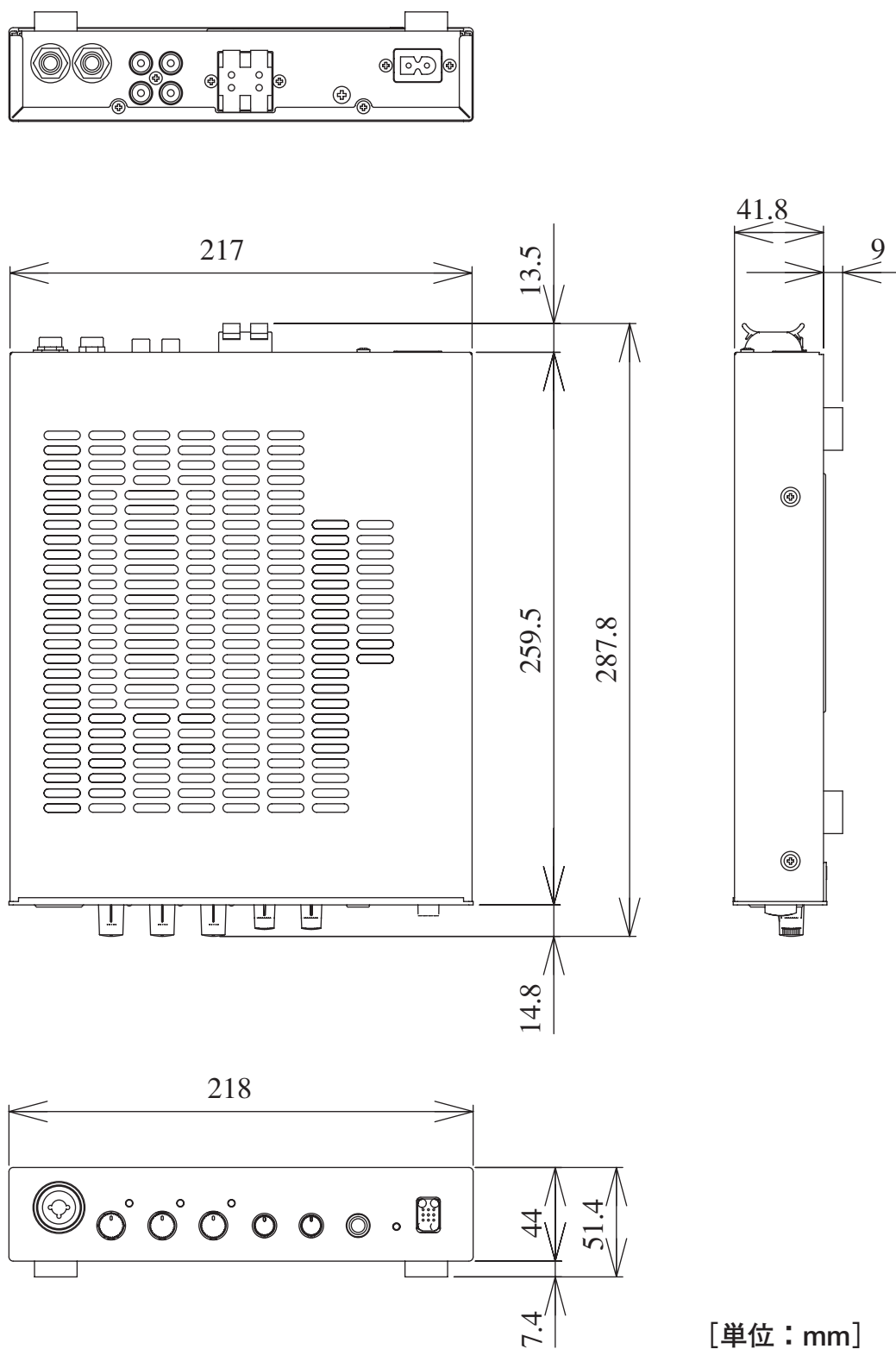
（0dBu = 0.775Vrms、0dBV=1Vrms）

※ 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

外形寸法図

217
13.5
259.5
287.8
14.8
41.8
9

218
44
51.4
7.4

［単位：mm］

お問い合わせの窓口

● 製品に関するお問い合わせ先

ローランドお客様相談センター　**050-3101-2555**

電話受付時間：　月曜日～土曜日　10:00～17:30（年末年始を除く）

※IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に“0000”（ゼロ4回）をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

※上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● 最新サポート情報

製品情報、イベント／キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ　**http://www.roland.co.jp/**

'07. 10. 01 現在（Roland）

C5100048　5RCC